

2025年度（令和7年度）事業計画

健全なる漫画の普及に関する事業

〔1〕 起き上がりこぼしプロジェクト

主 催：起き上がりこぼしプロジェクト

(A association of Kenzo TAKADA)

協 力：日本漫画家協会 他

内 容：福島のみ芸品の起き上がりこぼしに絵付けをしていただき、震災や自然災害の復興祈念、様々な困難を乗り越える象徴として、展示を行う。

<https://www.facebook.com/0kiagariKoboshiProject>

〔2〕 近現代漫画家記念館共同巡回展「これが漫画！展 日本漫画を創った時代～ 楽天・隆一・良輔～」(仮称)

開催趣旨：「これが漫画！展」は、全国に点在する新聞漫画家・「漫画集団」所属漫画家等の記念館が連携することにより、ストーリー漫画発展以前の日本の漫画（一コマ漫画・ナンセンス漫画・風刺漫画等）の歴史を振り返り、再評価する共同巡回展であり、日本各地の漫画展示施設の資料を活用し、漫画家たちの「集まり」という観点で紹介する。

企画内容：展示は3章構成。大きく分けて「明治」（北沢楽天）、「大正」（横山隆一）、「昭和」（那須良輔）。この3名を中心としつつ、各館が所蔵する同時代の漫画家資料、「漫画集団」関係の資料、当時の雑誌・新聞等を取り上げ、漫画発展の歴史を様々な角度から捉える。

（さいたま漫画市立会館では、当協会が寄贈した風刺雑誌「PUNCH」が展示される）

会 期：

会期①：湯前まんが美術館

（会期）2025年5月24日（土）～7月6日（日）

（主催）湯前まんが美術館

（共催）横山隆一記念まんが館、合志マンガミュージアム、勝央美術文学館

（協力）日本漫画家協会、京都国際マンガミュージアム、さいたま市立漫画会館

会期②：合志マンガミュージアム

（会期）2025年8月1日（金）～8月28日（木）

（主催）合志マンガミュージアム

(共催) 湯前まんが美術館、横山隆一記念まんが館、勝央美術文学館

(協力) 日本漫画家協会、京都国際マンガミュージアム、さいたま市立漫画会館

会期③：横山隆一記念まんが館

(会期) 2025年9月20日(土)～11月3日(月)

(主催) 横山隆一記念まんが館

(共催) 湯前まんが美術館、合志マンガミュージアム、勝央美術文学館

(協力) 日本漫画家協会、京都国際マンガミュージアム、さいたま市立漫画会館

会期④：勝央美術文学館

(会期) 2025年11月14日(金)～11月30日(月)

(主催) 勝央美術文学館

(共催) 湯前まんが美術館、横山隆一記念まんが館、合志マンガミュージアム、

(協力) 日本漫画家協会、京都国際マンガミュージアム、さいたま市立漫画会館

会期⑤：さいたま市立漫画会館

(会期) 2026年2月21日(土)～5月31日(日)

(主催) さいたま市立漫画会館

(協力) 日本漫画家協会、横山隆一記念まんが館、湯前まんが美術館、早稲田大学博物館支援サークルミュゼさぼ

〔3〕ブロック事業

内 容：各ブロック協力で実施する展覧会、出張授業など。

〔4〕IMART2025

主 催：一般社団法人MANGA総合研究所

協 賛：小学館、集英社、講談社、KADOKAWA 他

特別協力：日本漫画家協会、アニメイト、豊島区、日本アニメーター演出協会 他

会 期：2025年11月(予定)

目 的：マンガ・アニメ業界の知見の共有、人材交流によりコンテンツ産業の発展を目的とする国際カンファレンス、クリエイティブ、ビジネス、アカデミック、働き方、アドボガシー等、様々な観点のセッションやプレゼンテーションを行う。並行して行う商談会では、マンガを中心に国内外企業の発展に寄与するネットワーキングを図る。

内 容：基調講演・セッション・業界交流会・国際商談会・学生アニメ・マンガコンテスト・IPマーケット市場規模調査 他

〔5〕年賀状展

主 催：公益財団法人通信文化協会
協 力：日本漫画家協会、日本絵手紙協会
会 場：郵政博物館 企画展示室及び多目的スペース
会 期：2025年12月～2026年1月（予定）
内 容：日本漫画家協会会員による描き下ろしの干支年賀状の展示。

〔6〕東京アニメアワードフェスティバル2026

主 催：東京都アニメアワードフェスティバル実行委員会、
一般社団法人日本動画協会
共 催：東京都
特別協賛：豊島区
協 力：アニメーション美術家連盟、CG-ARTS、（一社）日本アニメーター・演出
協会、日本アニメーション協会 他
後 援：日本漫画家協会、国際交流基金、文化庁、日本貿易振興機構（ジェトロ）
他
会 場：池袋シネマ・ロサ、池袋HUMAXシネマズ、シネ・リーブル池袋、TOHOシ
ネマズ池袋、Mixalive TOKYO、としま区民センター 他
開催日程：2026年3月（予定）
内 容：新たな人材を発掘・育成、アニメーション文化と産業の振興に寄与する
ことを目的とし、『東京がアニメーションのハブになる』を合い言葉
に、高いクオリティとオリジナリティに富む世界中の作品を東京で上映
し、世界中のアニメーションを愛する人々との交流を図り、クリエイター
や観客に刺激と感動を提供し、そしてその感動や刺激を糧にアニメ
ーションの新たな波を東京から世界へ発信する。

漫画創作活動の奨励に関する事業

〔1〕第54回日本漫画家協会賞

主 催：日本漫画家協会
目 的：漫画文化の普及と日本漫画界の向上発展をはかる目的のもとに
優秀作品を顕彰する。
募集期間：2024年11月26日（火）～2025年1月10日（金）
選 考 日：2025年4月9日（水）

選考場所：日本漫画家協会・オンライン

表彰日時：2025年6月20日（金）

表彰場所：帝国ホテル

〔2〕第34回全国高等学校漫画選手権大会（まんが甲子園）

主 催：高知県、まんが王国・土佐推進協議会

共 催：高知県高等学校文化連盟

協 賛：日本漫画家協会、三菱電機、全日本空輸 他

協 力：高知市文化振興事業団 横山隆一記念まんが館

やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団 他

後 援：高知市、全国都道府県教育長協議会、全国高等学校長協会 他

募集期間：2025年4月～6月（予定）

予選審査会：2025年6月（予定）

本選大会：2025年8月（予定）

実施場所：高知市文化プラザかるぽーと 他

内 容：全国の高等学校へ予選テーマに沿ったまんが作品を募集、

予選審査で選抜された高校を本選大会に招待して、第1次協議、敗者復活戦・決勝戦を行い、最優秀校を決定。

〔3〕「第21回まんがの日記念・4コマまんが大賞」

主 催：高知市

高知市文化振興事業団 横山隆一記念まんが館

協 力：日本漫画家協会、やなせスタジオ

募集期間：2025年4月～9月（予定）

発 表：2025年10月（予定）

内 容：漫画「フクちゃん」の作者として知られる漫画家・横山隆一氏にちなんで創設された漫画コンクール。多くの漫画家を輩出した高知から全国へ漫画文化を発信するべく、2005年から高知市と横山隆一記念まんが館が実施している。

〔4〕Big Eggs 2025

主 催：札幌マンガ・アニメ&声優専門学校

協 力：日本漫画家協会、日本漫画家協会北海道ブロック、マンガジャパン 他

開催場所：札幌マンガ・アニメ&声優専門学校校舎内

開催期間：2025年11月（予定）

内 容：2009年に「北海道からマンガ・声優・アニメのプロを輩出する！」という目的のもとに立ち上がったイベント。集英社・小学館などの有名マンガ編集部が参加し、プロマンガ家デビューに直結するチャンスあり！「マンガ出張編集部」ならびに北海道・札幌を代表するソーシャルゲーム・イラスト・デザインを手がける企業がオンラインで集結する「イラスト添削会」等を実施。

〔5〕第10回北のまんが大賞

主 催：北海道、札幌市

協 力：北海道 MANGA 交流会、エアードライブ、三省堂書店 他

後 援：日本漫画家協会、北海道新聞社、各出版社漫画編集部 他

募集期間：2025年（期間未定）

内 容：北海道を素材にしたオリジナル作品の募集。

ストーリー漫画、四コマ漫画の各部門を設定。優秀作品を表彰する。

漫画文化の国際交流に関する事業

〔1〕第19回日本国際漫画賞

主 催：第19回日本国際漫画賞実行委員会

協 力：日本漫画家協会 他

募集期間：2025年（期間未定）

内 容：海外への漫画文化の普及と漫画を通じた国際文化交流に貢献した漫画作家を顕彰。日本の漫画家との意見交換や出版社訪問、地方視察等を行う。

漫画に関する調査研究に関する事業

〔1〕会員研究者による漫画の研究報告、主に会報に掲載。

- ・昭和の漫画とその周辺
- ・風刺漫画
- ・漫画史
- ・海外の漫画研究

〔2〕アーカイブ事業

内 容：昨年の協会創立 60 周年を機に改めて当協会独自のアーカイブ事業を検討する。具体的には継続して書庫・倉庫整理作業を継続し、貴重な資料の選別を行い、その利活用ならびに有識者指導の下での調査研究等を検討したい。

会報その他出版物の発行に関する事業

〔1〕会報発行

〔2〕インターネットによる情報の配信

- ・公式ホームページ、SNS 等での情報発信。
- ・YouTube 公式チャンネルにおけるレジェンド漫画家のオーラルヒストリー等の公開。

漫画の普及、擁護のための著作権等管理事業

〔1〕著作権等管理事業

内 容：著作物の円滑な利用の推進のため、日本漫画家協会で行う管理事業。

当協会は、管理を希望する著作権者より著作権の管理を委任され、使用料規程に基づいて、第三者に著作物の利用を許諾する。当協会に管理委託された著作物に関しては、第三者より利用申し込みを受けた場合、原則として当協会の許諾により当該第三者は著作物利用ができる。

〔2〕授業目的公衆送信補償金事業

内 容：(一社) 授業目的公衆送信補償金等管理協会 (SARTRAS) が主体となって著作者、実演家、レコード製作者、放送事業者及び有線放送事業者の権利を有する者 (以下、「権利者」という。) のために、授業目的公衆送信補償金を受ける権利又は複製権等の許諾権を行使し権利者に分配することによって、教育分野の著作物等の利用の円滑化を図るとともに、あわせて著作権及び著作隣接権の保護に関する事業を行う。SARTRAS より各分野で指定された権利者団体より各権利者へ補償金の分配を行う。漫画分野については、分配業務受託団体である当協会が分配業務を行う。

〔3〕図書館等公衆送信補償金事業

内 容：2021年6月に図書館関係の権利制限規定の見直しを含む「著作権法の一部を改正する法律案」が公布され、国立国会図書館や公共図書館、大学図書館等が、権利者保護のための厳格な要件の下で、利用者の調査研究の用に供するため、図書館等資料を用いて、著作物の一部分（政令で定める場合には全部）をメール等で送信することができるよう法改正がなされた（2023年6月施行）。それに伴い、送信された著作物の著作権者には補償金（図書館等公衆送信補償金）が支払われることとなった。2022年11月には図書館等公衆送信補償金を受ける権利を有する者のためにその権利を行使することを目的とする団体として（一社）図書館等公衆送信補償金管理協会（SARLIB）が文化庁長官の指定を受け、当協会は SARLIB 設立時に同団体の構成員となる。当該補償金が発生した場合は SARLIB から当協会を通じて漫画の著作権者に分配されることとなる。

〔4〕日本複製権センターを通じての企業・団体等内における著作物の複製等の利用許諾、ならびに当該利用許諾に係る使用料の受領等に関する事業

内 容：当協会は、言語等の著作物の著作権者から権利行使の委託を受け、企業・団体等の利用者に利用の許諾を行う著作権の集中管理を業務とする（公社）日本複製権センター（JRRC）の会員である著作者団体連合（著団連）の構成員であり、2020年に JRRC と管理委託契約を締結。JRRC における企業・団体等内における著作物複製実態調査は 2017 年を最後にコロナ禍の影響により中断されていたが、2023 年より再開。以降、年 1 回、当該調査が実施され、複製使用料が著団連を通じて当協会にも分配される。

〔5〕海外著作権関係補償金等分配支援機構を通じての授業目的公衆送信補償金等の分配ならびに海外からの使用料・補償金等の受領等に関する事業

内 容：海外の複製権等管理機構（海外 RRO）が徴収した日本の著作物に係る使用料及び補償金の国内権利者団体への分配ならびに SARTRAS が徴収した授業目的公衆送信補償金の海外権利者への分配を目的として、2023 年度に日本複製権センター（JRRC）、学術著作権協会（JAC）、新聞著作権協議会（CCNP）及び日本著作者団体連合（＝著団連。当協会が加盟）により、（一社）海外著作権関係補償金等分配支援機構（JSARRD）が設立された。これに伴い、当協会は漫画に係る授業目的公衆送信補償金等の海外権利者への分配業務を JSARRD に委託予定であり、また近い将来、海外

RR0 からの著作権使用料徴収も期待される。

その他この法人の目的を達成するために必要な事業

〔1〕 能登半島地震被災地支援チャリティー

主 催：日本漫画家協会

実施期間：2025 年 4 月～6 月（前年度より継続）

内 容：昨年 1 月に発生した能登半島地震。被災地の一日も早い復興の思いを込めた色紙を漫画家に描き下ろしていただき、Yahoo! でチャリティーオークションを実施。オークション収益は被災地に義援金として寄付を行う（寄付先は石川県義援金窓口を予定）。

(以上)